

4月1日

午前 仏殿～鎮守社～開山塔 山内寺院・寺務職員が出仕し遠忌法要開白の奉告と無魔成満を祈念

午後 舍利殿 御遠忌大法要開白法要

4月2日

午後 舍利殿 弘法大師法要並び末寺院縁故寺院檀信徒追福法要厳修 開山塔参拝

4月3日

午前 解脱金剛法要

午後 解脱会による月輪大師遠忌奉讃法要

4月4日

午前 舍利殿 戦没者・交通犠牲者追福法要並びに戦没者慰霊頭髪大日如来開眼法要

午後 舍利殿 奉讃団体物故者追福法要

4月5日

午前 霊明殿 歴代尊儀法要（藪内献茶）

午後 舍利殿 特別崇敬者先祖追福法要

4月6日

午前 舍利殿 裏千家家元献茶法要

4月7日

午前 海会堂 歴代先師法要

午後 仏殿 開山大師宿忌法要真儀楞厳大会 開山塔

4月8日

午前 舍利殿 開山月輪大師 750 年遠忌 正当堂上大曼荼羅供法要

午後 海会堂 御遠忌大法要結願法要

御遠忌大法要結願法要職衆（敬称略）

市橋真明 井上亮淳 射馬瑞泉 上田将博 上村貞郎 亀谷和雄 川井昌雄 川口良信  
川村俊朝 熊谷俊亮 熊谷龍尚 孤溪正信 柴田弘行 捨田利義猛 玉島宥雅 辻見宥山  
花野光倫 平野暎哉 藤田浩哉 藤田俊教 藤田法道 本城俊澄 松永雄重 安井玄純  
山本順暁 湯浅高明 吉川律城 渡辺義貴 渡邊尚道 渡邊実龍 渡部良順

泉青会の誕生

開山月輪大師 750 年遠忌法要を期に、本山との緊密化を計り、開山以来の法を護持し、泉山独特の各種法要、行事を研鑽することを主旨として、青年教師の親睦を計るため泉青会が結成される。開山月輪大師 800 年遠忌には 50 周年を迎える。

開山月輪大師八百年御遠忌局  
〒605-0977  
京都府京都市東山区泉涌寺山内町27  
総本山 御寺泉涌寺内  
TEL 075-561-1551  
令和6年10月発行

開山月輪大師800年

# 御遠忌だより

今から 50 年前の昭和 51 年 4 月 1 日～8 日に開山月輪大師 750 年御遠忌大法要が執り行われました。本山保管資料（高野山時報）によりますと、本山・末寺・檀信徒が一丸となつてのこの期間中の法要は、御寺泉涌寺を護る会の総裁三笠宮兩殿下のご参拝をはじめ、連日関係の団参ならびに一般檀信徒の参拝があり、月輪大師の讃仰とともに泉涌寺の発展への慶色に満ち溢れていた様子が伺えます。

今回は、御遠忌記念事業現況報告と開山月輪大師 750 年御遠忌当時の慶色に満ちた法要のスケジュールを最終面に一覧にしました。

開山月輪大師 800 年御遠忌に向けての弾みになればと願っております。



高野山時報 皇室の御寺総本山泉涌寺開山 月輪大師 750 年御遠忌大法要特集より



開山塔石塔 無縫塔（重文）

無縫塔とは、鎌倉時代に禅宗高僧の墓塔として当時の中国（宋）から伝えられたもので、下に八角または四角などの台座があり、その上に球形や卵型に近い部分のあるもの。開山堂の両脇には鎌倉室町時代からの歴代の無縫塔がズラリと並ぶ。

開山塔は八角平面の、雲文ある下壇と繰型をもつ脚や下向きの蓮華を彫った下の台上に各面蓮華をつけた八角の短柱、その上に石燈籠の中台のような形と上向きの蓮華、その上に球に近い塔身がある。球形の正面には「開山不可棄和尚塔」と彫られている。（古寺巡礼「泉涌寺」より抜粋）

開山塔石塔撥遣の様子（令和6年4月23日）



令和6年4月23日に開山塔石塔の撥遣を川村俊弘宗務総長御導師のもと厳修致しました。

開山塔石塔解体を行いました。（令和6年6月7日、12日）



開山塔・開山堂の修理のための調査が進んでいます。開山塔の解体を泉涌寺職員・心照殿学芸員の見守る中、開山塔の解体を慎重に丁寧に行っていただきました。

これからも、各記念事業の現況報告を行ってまいります。宜しくお願い致します。